

階段が一つの建物における避難の方法

第1 選択肢：直通階段（地上まで通じている階段）を使用して避難

階段が使える場合は、階段から避難しましょう。

第2 選択肢：避難上有効なバルコニーを利用して避難

避難はしご等で避難できない場合は、
煙を吸わないように姿勢を低くするなどして助けを待ちましょう。

第3 選択肢：出火元や煙の流入場所から離れた部屋などへ避難

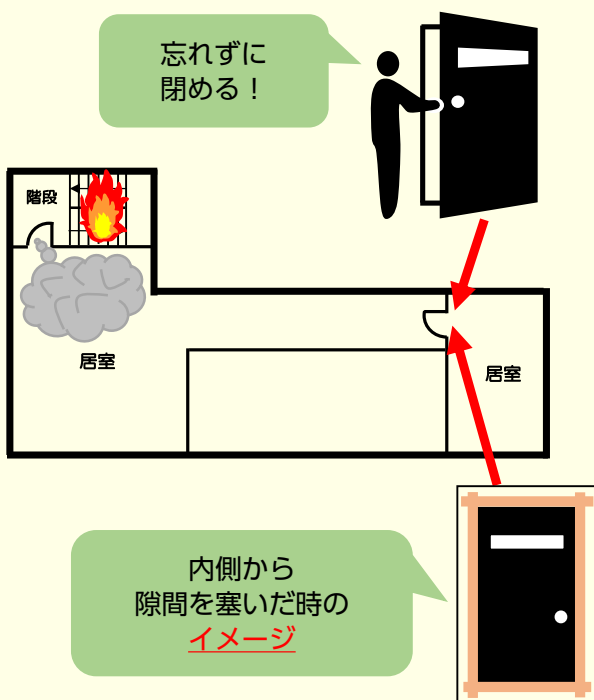
やるべきことを確認しておきましょう。

誘 導 す る と き に や る こ と



- ☐ 避難する途中に扉などがある場合は、可能な限り閉めて、煙が広がらないようにしましょう。
- ☐ 避難場所（火元や煙から離れた部屋など）を把握している人が声を出して誘導しましょう。
- ☐ 逃げ遅れがないか声を出して確認しましょう。
- ☐ 火や煙が入ってくる前に出火場所から離れた部屋などに誘導しましょう。

避 難 し た あ と に や る こ と



- ☐ 煙が入ってこないようにしましょう。
（扉や引き戸などを確実に閉める）
- ☐ 他の人が逃げてきたとき以外は、扉などを開けないようにしましょう。
- ☐ 避難してくる人がいないと判ったら、扉などの隙間を塞ぎましょう。
〔 ガムテープやアルミテープなどを使って、煙が入らないようにする。 〕
- ☐ 避難してきた人数を把握しましょう。
- ☐ 119番通報をして、電話に出た消防職員の質問に答えましょう。
（裏面の119番通報の例を確認しておく。）
- ☐ 避難器具（避難はしご等）がある場合は、それを使って避難しましょう。

